

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名	国立大学法人神戸大学	学部・研究科等名	医学部・医学研究科
-----	------------	----------	-----------

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 I 研究活動の状況

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名: 研究活動の実施状況

本研究科の研究活動の状況について、以下のような顕著な変化があった。

まず、受託研究数（平成 18 年度：28 件、平成 19 年度：40 件、平成 20 年度：37 件、平成 21 年度 45 件）、共同研究（平成 18 年度：34 件、平成 19 年度：33 件、平成 20 年度 33 件、平成 21 年度 41 件）はともに、年度を追う毎に増加している。

また、がん、代謝疾患、感染症、神経・筋疾患を対象とした『次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点-基礎・臨床医学実質融合による Clinician- Scientist の育成-』が平成 20 年度グローバル COE プログラム（医学系）に採択された。本研究は平成 20 年度から平成 24 年度にかけて行う。「シグナル伝達医学」は生体の恒常性を維持する情報システムから疾患を捉え、疾患メカニズム、診断、治療、予防について研究する分野である。シグナル伝達医学の進歩は個々の疾患の理解を格段に深める一方で、従来の疾患別・専門分野別のアプローチでは解明できない疾患の複雑性を浮き彫りにした。本拠点形成の目的は、本学におけるこれまでのシグナル伝達医学の成果を踏まえて、全く新しい視点とアプローチにより、疾患の病態を捉え、その本質を理解すること、革新的医療戦略を構築すること、さらに、次世代の医学・医療のリーダーとなる人材を育成することである。そのために、基礎・臨床医学の実質的な融合を基にした分野横断的・統合的なアプローチにより、社会的に根本的な解決が急務となっているがん、代謝疾患、感染症、神経・筋疾患を対象とし、それらの疾患が互いに関わり合う核心メカニズムの解明、並びに画期的な診断・治療・予防法の確立を目指すと同時に、新分野を創成する能力を有する clinician-scientist・医学研究者の育成を目指したシグナル伝達医学の教育研究国際拠点を形成することである。本計画は、基礎研究を各臨床の領域と融合させて研究を進める点、人材育成面においては、Clinician scientist 養成を目標に掲げ、医学部卒業生、研修医などが参画しやすい計画となっており、研究を志向する医学部卒業生、医師が激減している現状に鑑み、基礎と臨床の医学研究者を同一講座に配置する基礎・臨床医学融合制度を設ける試みが高く評価されたものである。補助金総額は 1,995,560,000 円の予定である。

その他、神戸大学における微生物・感染症研究グループを機能的に集約し、基礎研究と臨床研究を融合・包括した世界レベルの教育研究拠点を形成するとともに、兵庫県や神戸市等との地域連携、アジア諸国等との国際協力等、感染症対策に不可欠の活動を機能的に実施することを目的として、平成 21 年 4 月に医学部附属医学医療国際交流センターを医学研究科附属感染症センターに改組し、研究課題「フラビウイルス等に対する抗ウイルス薬及びワクチンの開発」が、平成 21 年度「地球規模課題対応国際科学技術協力事業」（科学技術振興機構）の感染症分野で採択された。この研究は、平成 21 年度から平成 25 年度にかけて行い、インドネシア特有および日本の薬用植物資源・天然抽出物を用いてフラビウイルスなど（C 型肝炎ウイルスおよびデングウイルス）に対する抗ウイルス薬のスクリーニングと作用機序の解析を行うとともに、フラビウイルスなどのエンベロープたんぱく質を発現する DNA ワクチンあるいはそれを応用した組換え水痘生ワクチンを作製し、動物実験によりウイルス中和抗体や細胞性免疫の誘導能について調べる。これらの研究をインドネシア大学、アイルランガ大学、医薬基盤研究所と共同で行い、インドネシア人研究者の日本への招へいを通して、インドネシアにおける研究技術の向上や人材育成を目指すものである。補助金総額は 34,354,000 円の予定である。

(別紙)

現状分析における顕著な変化についての説明書(研究) 正誤表

神戸大学 医学研究科

現状分析における顕著な変化についての説明書(研究)を独立行政法人大学評価・学位授与機構に提出(平成22年6月)後、記述に誤りが確認されたため、下記のとおり正誤表にて示す。

学部・研究科等	水準	整理番号・ 行数等	誤	正
医学部・医学研究科	研究	61-08- 03・上か ら7行目	共同研究	共同研究数
医学部・医学研究科	研究	61-08- 03・下か ら9行目	<u>フラビウイルス等に 対する抗ウイルス薬 及びワクチンの開発</u>	<u>抗C型肝炎ウイルス (HCV) 物質の同定及び HCVならびにデングワ クチンの開発</u>